

集落の整備

■輝く地域づくり支援金

活力あふれ、輝く地域づくりをすすめるために、集落または公共的団体が地域住民とともに、自ら考え、自ら行う事業に対し支援金を交付し、活動を支援する。

■集落活動サポート事業

中山間集落到に住む人たちが地域資源を再評価して経済活動へ繋げる、さらに住民の主体的な活動を掘り起こし、元気の持てる、安心して暮らせる地域を自らつくることの活性化策をサポート。

■三世代等同居住宅建設支援事業

交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進

新幹線駅周辺整備 国県市道くらしと交通安全 公共交通 地域情報化 地域間交流 移住定住

■市道新設改良事業

■市道舗装事業

■散水・無散水消雪施設整備事業

■流雪溝整備事業

■新飯山高校周辺主要道路整備事業（〔都〕八幡線）

■新幹線駅南地区都市計画道路新設事業（静岡線）

■新幹線駅南地区都市計画道路新設事業（新町線）

■広域道路整備事業 ■駅西線整備事業

■区画整理（市道整備分）

■新幹線関連道路水路改良事業

■防災行政用無線施設整備事業

■市道舗装修繕事業

財政難で補修ができず通行に支障をきたしていた市道のオーバーレイを行い、地域住民が安全に安心して暮らすことのできる道路整備を行う。

■新幹線通勤助成事業

■公共交通再生総合事業

市内バス交通について、現在のバスに関する実態調査、問題点・課題を抽出、市民の利便性を高めるとともにコストの削減を図るための改善案を作成し、実証運行を行う。



生活環境の整備

水道 生活排水処理 廃棄物処理 消防 景観形成 公園 住宅など

■統合簡水中央監視装置改修工事

■ポンプ自動車整備事業

■消防施設整備事業（飯山市負担分）

■消防救急無線整備事業（飯山市負担分）

■岳北広域救助工作車整備（飯山市負担分）

高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

高齢者福祉 児童福祉（子育て支援） 障がい者福祉

■保育所環境整備事業

しろやま保育園一部改修等

■子育て応援事業

■児童センター整備事業

■乳幼児医療事業（市単分）

医療費の負担軽減をし、医療福祉の増進を図るため、現在小学6年生まで行っている医療費の自己負担の償還を中学生まで拡充する。

産業の振興

農林業 商業 工業 観光

■本町アーケード改修補助事業

■駅東商業地域整備

■いいやま湯滝温泉施設整備事業

■回遊性のあるまちづくり事業

■新幹線駅都市施設整備事業

■市営飯山シャンツェ改修事業

■親水公園整備事業

■信越トレイル トイレ施設設置事業

■道の駅「花の駅・千曲川」施設改修事業

■温泉地・スキー場地区再生事業

■農産物一次加工施設設置事業

農産物の高付加価値化を進めるため、細胞組織を壊さない冷凍システムを備えた農産加工施設の整備に向けて、市場の需要、販路の研究調査を行う。

■協働のもりづくり事業

里山から離れつつある地域住民の森林への意識を高め、多機能を有する森林の整備と保全を推進するため、区民が協働で森林整備を進める活動に対して支援を行う。

■有害鳥獣対策事業

農地を鳥獣被害から守るため、地区が整備する電気柵、電気柵緩衝地帯に対し補助を行う。23年度にモデル事業として行う。

■まち並み整備事業（ソフト）

回遊性のあるまちづくりを進めるため、まち並み整備重点地域の設定、まち並み整備計画の策定、ガイドラインに沿った新築、改修に補助、市が行うまち並み整備。

■企業誘致新規施策事業

企業誘致を進めるため、現在行っているハード面の優遇策に加え、ソフト面での新たな施策を展開する。

■新駅開業に向けた地域ブランドPR・誘客イベント事業

新幹線飯山駅の開業を全国に発信するとともに、新駅開業をより効果あるものとするため、地域ブランドの調査研究、誘客イベントの計画策定、実施。

■インバウンド推進事業

海外からの誘客を推進するため、案内板等整備、HP・ガイドブックの作成、通訳ガイドの組織化を行い、海外からの観光客の受け入れ体制を構築する。

■まちなか観光周遊事業

観光客の市内周遊を促すため、レンタサイクルの充実、市内周遊バスの検討、運行。

■ITを活用したまちなか観光推進事業

利便性が高いまちなか観光を推進するため、携帯端末を活用したナビゲーションの研究、駐車場誘導システム等のスムーズな車両誘導の研究を行う。

■歩こさいいやまグレードアップ事業

「歩こさいいやま」のマップをベースに、更なる情報強化と時点修正を図り、新幹線開業後を視野に飯山市観光のバイブルとして活用する。

■地域資源活用型起業支援事業

回遊性のあるまちづくりを進めるため、飲食店をはじめとした地域資源を活用した起業に対し補助し、魅力あるまちづくりを行う。

■観光推進事業

観光振興策を一元的に推進する体制を整えるため、飯山市観光協会から移行した信州いいやま観光局の活動を補助し、魅力づくりに取り組み、誘客拡大、受け入れ態勢の充実を目指す。

■北陸新幹線飯山駅開業記念イベント開催事業

平成26年度末の北陸新幹線飯山駅開業を市民挙げて祝い、新幹線開業が過疎脱却の起爆剤となるように、市民の機運を醸成し、記念イベントを開催する。

ひと暮らし元気プラン

飯山市過疎地域自立促進計画策定

平成22年度
～
平成27年度

飯山市は、過疎地域自立促進特別措置法（過疎法）の改正によって、平成22年度から過疎地域に再指定されました。これに伴い、財政的に有利な起債（借入額の7割が交付税で措置され、実質3割の負担）を活用し、過疎脱却や地域の自立促進をすすめるための過疎地域自立促進計画（過疎計画）を平成22年12月1日に決定しました。人口増、少子化対策として乳幼児医療費の無料化の拡大、第3子以降の保育料無料化などを盛り込み、「ひと・暮らし元気プラン」と題した計画の概要をお知らせします。

教育の振興

学校教育 社会教育

■城南中学校移転事業

■小学校施設リニューアル整備事業

■スクールバス購入事業

■給食施設共同給食調理場整備事業

■スポーツ施設リフレッシュ事業

■ジュニアスポーツ振興事業

スキーをはじめとしたジュニアスポーツについて、団体の活動への援助、サマージャンプ大会をはじめ各種大会を開催する。

■学力向上総合対策事業

地域文化の振興等

地域文化の振興 芸術文化の振興

■飯山城跡整備事業

■美術館施設整備事業

■飯山ぶらざ（仮称）建設事業

■人形館周辺整備事業

■仁王像整備事業

■ふるさとづくり地域社会推進事業

住民自ら地域を学び、自ら地域を創り上げることにより、住んでいて良かった、住んでみたい地域づくりを行う契機として、ふるさと百選選定、記録化、公開、普及事業を行う。

医療の確保

診療施設 など

■医学生奨学金

【重点プロジェクト】

- ・新幹線駅と連動した土地利用の推進
- ・新幹線駅開業を見据えた新産業立地、広域観光の推進
- ・農産物の高付加価値化
- ・移住定住の推進
- ・中高年の健康増進と介護予防
- ・ごみ減量の推進
- ・自主防災会の設置と防災意識の高揚

【基本方針】

平成26年度、北陸新幹線の金沢までの開通にあわせ、在来線JR飯山駅を併設した新駅が開業し、飯山市は北信州の玄関口となります。

広域観光の推進、新駅と連携した土地利用・新産業の立地、新幹線駅を軸にした回遊性のあるまちづくりなど、重点プロジェクト・重点施策を盛り込み、活力ある飯山市づくりを進めます。

【過疎の状況】

過疎化の要因は、豪雪地帯のハンディや経済成長期に産業の立地不足による若年層を中心とした人口流出、また広い市域からくる社会資本整備の遅れなどが考えられます。

平成16年度までの過疎債を中心とした支援策を活用し、克雪対策や下水道処理施設などを中心に、産業振興施設、

福祉・教育関連施設、ケーブルテレビ施設などの整備を進めることができ、中心商店街公園整備など回遊性のあるまちづくりや観光の拠点を整備するなど、ゆとりの面でも大きく前進できました。これら施策の成果として、人口の減少率は緩やかになりましたが、過疎の指定から外れ、激変緩和措置が終了した平成17年度以降は、長引く地域経済の低迷による地域間格差が拡大し、人口の流出、少子化による人口減少が進んでいます。

【社会経済的発展の方向の概要】

平成26年度の北陸新幹線の開通を視野に入れ、北信州

の玄関口として新幹線駅へのアクセス道路や駐車場などの施設整備、既存の観光拠点の拡充と同時に、近隣市町村との広域観光ネットワークを強化し、新幹線駅の周辺整備にあわせ、中心市街地の活性化や観光を含めた歴史的街並みの整備など、回遊性のあるまちづくりを進め、交流人口の拡大を図ります。

またグリーンツーリズムでの観光と農業や、まちなか観光と地場産業振興など、既存の地域資源や産業を連携させ、その相乗効果でそれぞれの付加価値を高める施策を推

進めます。そして、生活環境を整備し、質の高い生活を提供、定住人口の拡大と生産人口の定着をはかります。さらに、次代を担う子ども達への支援や集落への援助対策、地域文化や芸術文化の振興をはかることにより、精神的にもゆとりを持てる地域の実現を目指します。

